

# 第一部 ねじ曲げられた「軍艦島」の歴史

平成二七（二〇一五）年七月、長崎港の南西に位置する「軍艦島」の炭鉱関連施設が世界文化遺産に登録されました。「軍艦島」の海底炭鉱は明治初期から世界でも稀な良質の石炭を産出し、日本の産業近代化に大きく貢献しています。昭和四九（一九七四）年に閉山しましたが、同島の施設はそのまま昔の形を留めており、先人の努力の跡が一目でわかる日本人にとって誇るべき遺産と言えるでしょう。

ところがこの施設が世界文化遺産に登録される際には、韓国が過去を持ち出して大反対し、あらゆる手段を使って妨害しました。第一部では、彼らがどれだけ「軍艦島」の歴史を捻じ曲げているか、まずその実態についてお伝えします。

朝日新聞の情報操作——	201
元慰安婦を口説き回った反日日本人弁護士——	202
慰安婦強制連行は吉田清治の捏造だった——	203
河野談話で「性奴隸国家」となった日本——	204
日本への悪意に満ちた「クマラスワミ報告書」——	205
「河野談話」は「河野談合」だった——	207
強制連行を示す証拠は何もない——	209
「連行」したのは朝鮮人女衒——	210
朝鮮人を含む慰安婦の総数は五〇〇〇人前後——	211
慰安婦は性奴隸ではなかった——	213
現在進行中の女性の人権侵害こそ糾弾すべき——	215
おわりに／	231
参考・引用文献／	234

# 第一章 「軍艦島」の世界文化遺産登録

## 日本のマンハッタンだった「軍艦島」

軍艦島の本来の名前は「端島」です。住所は長崎市高島町字端島（旧長崎県西彼杵郡高島町）で、長崎港から一八・五キロメートルの海上に浮かんでおり、その形が軍艦「土佐」に似ていることから「軍艦島」と呼ばれるようになりました。

端島では、文化七（一八一〇）年に石炭が発見され、明治三（一八七〇）年より採掘が開始されました。明治二三（一八九〇）年には三菱が鍋島孫六郎より買収し、その後八〇年に亘って大量の石炭を産出しています。

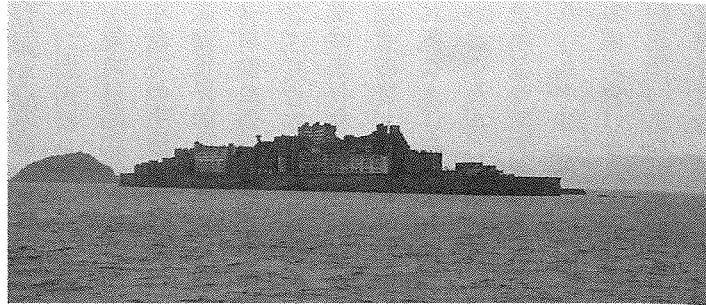
端島はもともと南北約三三〇メートル、東西約一二〇メートルの岩礁でしたが、炭坑から出てくるボタなどで海岸を埋め立て、最終的には南北約四八〇メートル、東西約一六〇メートルにまで拡大しました。明治末期には既に二〇〇〇人を超えており、人口増に対応するために、

我が国初の鉄筋コンクリート造りの高層アパートの建設が大正四（一九一五）年から始まりました。

翌大正五（一九一六）年に七階建ての三〇号棟が完成し、大正七（一九一八）年には一六号棟から二〇号棟まで、九階建てが四棟、六階建てが一棟竣工しています。

狭い土地に多くの人が居住するためには建物を高くするしかなかったのですが、当時は東京の銀座を凌いで「日本のマンハッタン」のような壯觀を呈していたそうです。

その後も住居施設は拡張され、端島の人口は戦後の最盛期には五三〇〇人に達しています。商業施設も充実していて、ほとんど全ての日用品や食品を島内で手に入れることが可能でした。食堂や映画館、麻雀荘などの娯楽施設もあり、火葬場と墓地を除けば、生活に必要なものはこの島に全て揃っていたのです。また、その生活レベルは確実に本土を上回っていました。



現在の軍艦島（端島）

## 登録を妨害した韓国

端島は昭和四九（一九七四）年に閉山を迎え、無人島となりましたが、炭鉱関係ばかりではなく全ての生活施設がそのまま当時の姿をそこにとどめており、このような形で現存する炭鉱遺産は世界的にも極めて稀なものでした。

このため、端島を世界文化遺産に登録しようという運動が自然発生的に起こり、平成一五（二〇〇三）年八月には「軍艦島を世界遺産にする会」が特定非営利法人（NPO）の認証を受けました。

その後、同会や地元の努力もあり、端島の施設は世界文化遺産候補として正式に取り上げられることになりました。

ところが、この「軍艦島」の世界文化遺産登録には、韓国が当初より反対し、執拗に妨害してきたのです。後述しますように、韓国では日本統治下の歴史が戦後にあって全て塗り替えられ、人々は「日本は朝鮮を世界でも類を見ない残虐なやりかたで植民地支配した」という認識を植えつけられています。端島で働いていた朝鮮人労働者も、全て日本の官憲に無理やり「強制連行」され「地獄の炭鉱」に送り込まれた犠牲者であると信じており、日本が提出した、軍艦島を含む「明治日本の産業革命遺産」（以下「産業革命遺産」）は世界文化遺産に登録されることになりました。

べきではないと反発したのです。

韓国の市民団体は、世界文化遺産登録を阻止するために、「軍艦島」とは全く関係のない資料を作成してユネスコの選定委員に配布し、組織的な妨害工作を行いました。

その中の一つに、「朝鮮人労働者が『軍艦島』で虐待された証拠写真」なるものがあります。専門家が調べたところ、これは大正一五（一九二六）年九月九日付「旭川新聞」に掲載された写真であることが判明しました。この写真記事は北海道の道路工事現場で働く日本人労働者が、一滴の水も与えられずに酷使された事件を報じたものであり、場所も時代も異なり、朝鮮半島出身者とは全く関係のない写真でした。

韓国外務省も「産業革命遺産」の登録を阻止するために「真相究明委員会」なるものを組織してプロパガンダ用の冊子をいくつも発行し、「多くの女性がだまされ、誘拐された」など、世界文化遺産と無関係の慰安婦問題までからめて日本批判を展開しました。

驚くことに冊子の中には、「山口、萩の松下村塾を批判し、「長州藩士の吉田松陰が朝鮮半島へ向かって日本の帝国主義を主導した」と断じているものもあります。さらにC Mまで作つてバスなどの公共交通機関でこれを流し、登録反対のキャンペーンを繰り広げました。このようすに韓国側はありとあらゆる手段で妨害したのです。

しかし日本側は辛抱強く韓国を説得し、それぞれが登録を目指している案件を互いに応援す

ることで一端は話し合がつきました。そして約束通り日本は韓国の「百済地区」の登録を最大限応援しました。

ところがこれが無事登録されると、韓国側は手のひらを返したのです。「朝鮮半島出身者が非人道的な環境で強制労働をさせられたことが明らかになつていない」と難癖をつけ、土壇場になつて日本の「産業革命遺産」の登録に再び反対しました。こうして「強制性」の表記をめぐり、世界文化遺産委員会の各國委員を巻き込んで、最後までもつれにもつれました。

### 禍根を残した外務省の対応

本書で明らかにしますように、強制連行も朝鮮人徴用工虐待も事実ではありません。しかしこれ入れて、登録時に「forced to work」（強制して働く）という言葉を世界文化遺産委員会で表明してしまったのです。これはどう見ても「徴用工の強制連行」を認めたとしか解釈できません。さらに端島で働く徴用工の実態を明らかにするために情報センターを設置する」とまで確約してしまいました。

当時の岸田外務大臣は「国民徵用令に基づく徴用が行われたことを意味したものであり、『強

制連行』の意味ではない」と弁解しましたが、それが国際社会で通用するはずがありません。韓国側は「日本が国連の場で強制徴用を認めた」と当然のことと世界に喧伝しており、日本の立場は悪くなる一方です。

日本外務省担当官の事なれば主義には呆れるばかりですが、祖国の名譽を守る気概と使命感が少しでもあるのなら、せめてこれから作る情報センターではつきりと「強制連行はなかった」ということを明らかにすべきでしょう。

### 軍艦島は有色人種全体の遺産

端島の施設や建物は平成二七（二〇一五）年七月に「産業革命遺産」の構成資産の一つとして、ユネスコの世界文化遺産に登録されました。多くの関係者の一六年に亘る努力が実つたものです。

この「産業革命遺産」は、北は岩手から南は鹿児島まで八県、一一市にまたがる二三の遺産で構成されており、シリアルノミネーション（注）という手法で登録されました。これら一連の産業遺産群は、幕末から明治期にかけて、わずか半世紀の間に日本が製鉄、製鋼、造船などの重工業分野や、それを支える鉱業分野において急速に発展した過程を時系列的に物語つてい

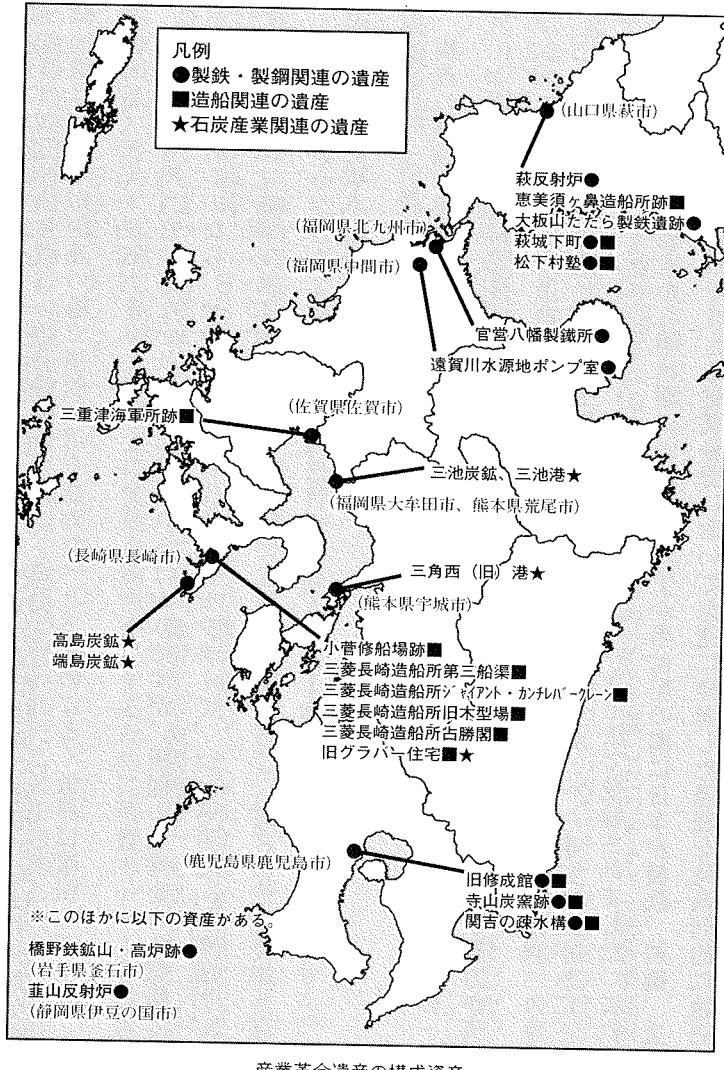
明治以降の日本の産業革命を推進する上で、石炭は最も重要なエネルギー源として用いられました。特に端島炭鉱で掘り出される石炭は、瀝青炭の中で一番火力が強い強粘結炭であり、世界でも例が少ない高流動性原料炭でした。日本製鉄（現・新日鐵住金）八幡製鉄所が発展できたのも、端島の石炭のお蔭であると言われています。

採掘や運搬には常に最先端の機械設備が導入され、明治初期から昭和四九（一九七四）年の閉山までに約一五七〇万トンの石炭を産出し、日本の産業近代化に計り知れないほど大きな貢献をしました。

端島炭鉱を含む「産業革命遺産」を世界史的視野で見れば、有色人種が白人の植民地支配に抵抗し、今日の人種平等の世界を築き上げるための「原動力」という大きな役割を果たしてお

り、その意味では有色人種全体の誇るべき遺産と言つても過言ではないでしょう。

（注1）シリアルノミネーションとは、一つ一つの遺産には世界遺産としての価値はないものの、複数の遺産が一緒になれば世界的価値がある遺産群のこと。



産業革命遺産の構成資産

## 第二章 映画『軍艦島』の歴史歪曲

### 証拠がないから映画を作る

「産業革命遺産」はこうして糾余曲折を経ながらも、関係者の努力で世界文化遺産に登録されました。しかしそれで簡単に引き下がる韓国ではありません。

韓国政府は徴用工の強制労働や非人道的な扱いに関する非を認めるよう、日本外務省に再三要求すると共に、端島を管轄する長崎市長に対して平成二八（二〇一六）年四月二七日に朴鎮雄総領事が「日本政府は世界文化遺産登録決定の際に強制労働を知らしめるために、情報センターを設置すると約束したが、目に見えてこない」と政府への働きかけを要求しています。

しかし日本政府の調査でも「強制運行」の証拠はなく、日本としては「非」を認める情報センターなど簡単に作るわけにはいきません。当然です。ところが、業を煮やした韓国側はあるうことかとんでもない行動にでました。「証拠がなければ映画を作つて世界に訴えてやる」とばかりに、『軍艦島』という史実をねじ曲げた恐ろしい映画を作つたのです。

この映画は約二二〇億ウォン（約二二億円）をかけて製作され、主人公には韓国で人気ナンバーワンの宋仲基が起用されており、封切り後二週間で実に観客動員数六〇〇万人を達成しました。公開初日は二一六八スクリーンで上映され、韓国内の全スクリーン数二五七五の八五%以上を占めるという、前代未聞の記録を打ち立てています。

ではこの映画の中でどのようなことが描かれているかを詳細に見てまいりましょう。

### ホロコーストを彷彿させる冒頭

まず、徴用工と慰安婦が、日本の官憲の監視のもとに関釜連絡船の船底に詰め込まれて日本に運ばれます。下関に着くと日本軍兵士が、彼らを窓のない貨車に詰め込みます。さらに船に乗り換えて「軍艦島」に到着すると、またまた日本軍兵士が乗りこんで棍棒で叩きながら彼らを引つ立てます。上陸後には直ちに身体検査があり、私物は没収されてしまいます。

建物に入ると、「（徴用工たちの）住居費や食事代、その他業務に関わる経費は全て給料から差し引く、それでも足りなければ翌月の給料から差し引く」という非情なアナウンスが流れます。ナチスドイツのユダヤ人虐殺記録映画とそっくりな描写であり、観客は「軍艦島行き」にホロコーストと同列の残虐性があることを、最初から印象づけられるのです。

## 幼い女の子を慰安婦に

この映画では朝鮮人のジャズ樂團がグループごと徵用され、その中に朝鮮人父娘がいます。父親は樂團のリーダーという設定で、韓国で最も人気のある俳優の一人である黃正民<sup>ファン・ジョンミン</sup>が扮しています。

「軍艦島」に到着するやいなや、その娘は日本軍兵士によつて父親から引き離され、慰安婦になるための検査を受けさせられます。泣き叫びながら兵士に抱かれて行くシーンは「壯絶」以外の何物でもありません。「親子の情」は韓国で最も琴線に触れるテーマであり、この場面だけでも日本人に対する嫌悪や憎悪を、見た者的心深く刻みつけるのに十分でしょう。

## 虐待される朝鮮人徵用工

映画の中の朝鮮人徵用工はゴキブリの混じる粗末な食事しか与えられず、その住居は畳を踏めば汚水が染み出るほど劣悪です。

坑内では朝鮮人徵用工がさんざん差別され、奴隸のように扱われます。狭く危険な坑道にふんどし一つの姿でもぐりこみ、ツルハシで採鉱するのです。少しでも手を休めれば棍棒で殴ら残したまま塞いでしまうよう命令します。

あまりの虐待にたまりかねて逃亡しようとすれば、監視塔から銃撃されて殺されます。なんとか海に飛び込んでも、船が追いかけてきて魚をとるための「投げ網」で捕獲されてしまいます。映画の中の端島は地獄そのものなのです。

## 針の山で虐殺される慰安婦

むごたらしい描写がこの映画のいたるところにありますが、その際たるもののが、針の山を転がして慰安婦を虐殺する場面です。端島の慰安所で働く朝鮮人慰安婦が、客の朝鮮人の男に「日本軍へのサービスを拒んだらその日のうちに虐殺された」と昔話を語り、その回想シーンでは、二人の日本兵が朝鮮人慰安婦の手足を掴んで、五寸釘が逆さに突き出た戸板の上を転がし、慰安婦は悲鳴をあげ血まみれになつて絶命するのです。

この場面は、国連人権委員会から「女性に対する暴力に関する特別報告者」に任命されたクマラスワミが、同委員会へ提出した報告書（以下「クマラスワミ報告書」）の中にある、事実

とかけ離れたとんでもない記述を再現したものに違ひありません（クマラスワミ報告書の詳細は二〇五ページをご参照ください）。

## 会社が朝鮮人全員虐殺を企図・銃撃戦で脱出

広島に原爆が投下され、日本の敗戦が決定的になると、端島炭鉱の日本人所長は朝鮮人虐待で「戦犯」となるのを恐れて、証拠隠滅のために端島の朝鮮人全員を殺害する計画を立て、手なずけていた朝鮮人のリーダーにその話を持ちかけます。朝鮮人のリーダーは実は「裏切り者」で日本人所長と手を組んで朝鮮人徴用工たちの給料をピンハネしていたという設定になっています。二人の話を盗み聞いたのが、徴用工に紛れ込んでいた宋仲基扮する大韓民国光復軍（九九ページ参照）の工作員で、彼は裏切り者の朝鮮人リーダーと対決してこれを「処刑」し、朝鮮人徴用工を指揮して日本軍から銃を奪います。朝鮮人慰安婦までが銃を取つて日本軍と激しい銃撃戦を繰り広げ、ついに日本人所長は全身火だるまとなり、宋仲基が刀でその首をはねて「これで終わった」と宣言します。

朝鮮人たちは全員船に乗つて脱出に成功し、沖にでたところで、長崎に原爆が投下されます。巨大なきのこ雲を見上げながら、「あそこにも朝鮮人がいるのに……」と誰かがつぶやきます。

## 史実として世界に拡散

その瞬間に何万人もの日本人が死んだことへの同情は全くありません。むしろ原爆投下で日本は「天罰を受けた」という満足感でファイナーレを迎えるのです。

この映画の柳昇完監督は、韓国MBCテレビの番組で「取材した人々がいる。数多くの証言を通じ、本当に事実だと言うしかない資料がある」「地下一千メートルの炭鉱で作業をし、人権蹂躪された生活を送るなどの内容は、歴史的事実を基にしていて」などと語り、映画のセットなどについては「徹底的に時代考証に基づいている」とも述べています。実際、この映画の冒頭には「本映像は『対日抗争期強制労働者被害者調査および強制労働者等支援委員会』資料と当時の実際の記事とインタビューなどを参考にしたあと、製作しました」という字幕が出てきます。

配給会社である韓国のCJエンターテインメントは、この映画のプロモーションをアメリカ・タイムズスクエアの大電光掲示板を使い、一週間に亘つて「史実を忠実に再現した映画」として全世界にアピールしました。

同社は二〇一七年七月二八日にはユネスコ本部のあるパリでも上映会を開いています。聯合



『軍艦島——恥ずかしい世界文化遺産』書影

大人向けの映画だけではありません。韓国では絵本などを使って、小さな子供たちにまで「軍艦島」を地獄だったと教えています。その一つは、二〇一六年

に韓国で発行された児童用絵本『軍艦島——恥ずかしい世界文化遺産』尹ムニヨン作（ウリ教育）です。

この本には「戦争を引き起こした狂気の沙汰であった日本は、朝鮮半島から幼い少年たちまで強制的に日本に連行したのです。（中略）目的地も告げられずセドリ（主人公の一歳の少年の名）が連れて行かれた場所は、まさに地獄の『軍艦島』でした。（中略）幼い少年たちは地下一千メートルまで下りて、日本が戦争の資源として使う石炭を掘らなければならなかつた

### 『軍艦島——恥ずかしい世界文化遺産』

## 第三章 『軍艦島は地獄島』 子供向け本

ニュースによると、韓国政府からはユネスコ大使、経済協力開発機構（O E C D）大使ら三〇名が参加し、世界文化遺産委員会の委員国であるトルコやクウェートの大使も鑑賞したそうです。同社の関係者はこの上映会について「軍艦島での朝鮮人の強制徴用などを記憶するための処置を求めたユネスコの勧告を日本が履行していないことについて、国際社会の関心を促したかった」と説明しています。

さらにこの映画は二〇一七年八月からは、アメリカとカナダの四〇カ所あまりで上映が始まっており、マレーシアやシンガポールなどの東南アジア諸国でも上映が予定されています。今や日本人を「鬼畜」扱いする映画が、韓国によって事実として世界中に拡散されようとしているのです。